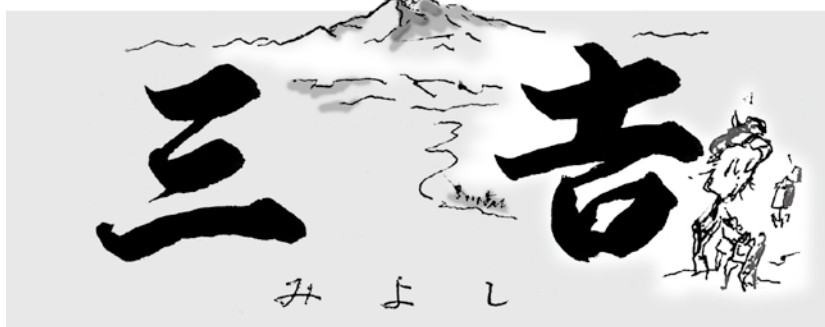




発行所

太平山頂上鎮座

太平山三吉神社総本宮

宮司 田 村 泰 教

秋田市広面字赤沼3の2

電 話 (018) 834-3443

F A X (018) 834-3444

<http://www.miyoshi.or.jp>

(早春の太平山をバックに走る) 引退した E3 系秋田新幹線こまち

(渡邊 仁氏撮影)

「現代のベートーベン」の代作騒動に続き、今度はノーベル賞級の発見とされた論文のデータ捏造が疑われ、成果の真偽が問われている。昨年の食材偽装に続いて次々に明るみになる偽り。▽何れの場合も、手の平返してバッシングに走るマスコミの豹変振りに驚くが、もし自分の名声や利益のために確信的に周囲を欺いていたとすれば、自業自得と言われても仕方ない。ごまかしや付け焼刃による信望はいずれ消え失せるのが世の習わしだ。▽神道に『浄明正直』（じょうみょうせいちょく）という大事な徳目がある。読んで字の如く「清く、明るく、正しく、直き」心を持つて日常を送ろうという意味。一見、小学生でも簡単に理解できるような内容だ。▽しかし、このような心持ちを維持したまま生活することが、どんなに難しいかは多くの方が実感していること。市井の者が時の人になる可能性はまず無い。しかし、毀誉褒貶にとらわれない「誠の心」を持った生き方が如何に大切な。決して他人事ではないように思う。

宮司 田 村 泰 教

地元シリーズ④⑦

伊勢神宮参宮旅行の

思い出として

責任役員 佐藤 勲



はじめに (男性の所作でした)

ご同行のみ
なさまにこ
のたびの厳
かな中にも
このうえな
く楽しかった旅行をご一緒いた
だきましたことにお礼申し上げます。

また今回はやむを得ず参宮等
のできなかったみなさまにはさ
さやかなおみやげ話として、わ
たしにとって特に印象の強かつ
たことなどをいくつかご紹介い
たしたいと思います。

一、内宮の神楽……平成二十六
年三月十二日早朝、清々しい境
内を真つ先に歩むご一行はなか
なか恰好がよかった。何といっ
ても圧巻は優美ななかに摺り足
の力強いお神楽を目のあたりに
し、大いに感激したことでした。

二、がんこ・二条苑……二日目
の昼食ではさもない外見のお店
だと思っておりましたら、なん
と舞妓さんの踊りのサービスが
あり、髪飾りは季節を彩る水仙
でしたか、それにあの優雅なだ
らりの帯を目の当たりにして
うっとりしました。

三、伏見稲荷大社……全国の
三万とも四万ともいわれる稲荷
神社の総元締めでもあり、約四
キロメートルになるといいう千本
鳥居には驚きました。

四、泉涌寺……偶然限られた公
開日にあたった涅槃図絵を見
て、ふと出口の一角に目をとめ
ると模造紙に墨書きの「さとり」
とあり、「一、人生は苦である。
二、苦は執着、願望、なやみよ
り起こる。三、悪い因と縁を滅
すれば苦は滅する。四、その方

法は次の八正道を行ずる事であ
る。」とあって、その八正道を示
しておりました。(正見・正思・
正語・正行・正命・正精進・正
念・正定)

五、広隆寺……一堂に五十三体
の仏像が安置されているという
ことでしたが、私はまっすぐ弥
勒菩薩半跏思惟像に對面しまし
た。いつも中宮寺にある像だと
思いこんでいたのが広隆寺のこ
のお像だったことに気が付きま
した。

暗かったせいか以前に感じた
いわゆる「古典的微笑」による
「神々しい気品」を今回は感受す
るまでいきませんでした。わた
し自身の感性の錆びつき、退嬰
のしからしむるところかと納得
させられました。

六、上賀茂神社……なんと
二千六百年前の創建とは、わが
三吉神社の二倍も遡ることにな
りますが、神々のこともさりな
がらその神々を敬い奉ってきた
人々の計り知れない営みの凄さ
に感銘を新たにいたしました。

さてさて、以上の私の文意の
足りないところはご同行の皆様
のそれぞれの思い出で補ってい
ただきたいと思います。



内宮

運び

楠 宜 佐々木 勉



人として
此の世に生
を受け、我
が人生の幸
せを願わな
い人はいな
いでしょう。又親として我が子
の幸福を祈らない人もいないで
しょう。では人の幸せとは何だ
ろうか。豪邸に住み着る物・食
べる物に贅沢を尽して、毎日楽
しく活す事も一生、世の為人の
為に奉仕して他人の幸福の為に
生きるのも一生であるならば何
方を選らばうかと迷うのである。

本来人間は欲張りで・横着
で・助平で・怠け者だそうです。
自分は違うと思う人でも、誰も
が持っている資質だそうです。
そして反面には神仏から戴いた
分身霊には世の為人の為に働く
靈魂も持ち併せているそうです。
光と影を持った生き物であり、

時には妬み・そねみ・貪りから
来る争いの心、そして次々と昇
り詰めて際限の無い自我充実の
欲心。
又、生老病死の四つの苦から
逃れられない生き物でもあり、
万物の霊長として全ての生き物
の命を食べなければ生きていけ
ない生き物だとも言われており
ます。
又、祖先から戴いた遺伝子の
中に良きも悪しきもその家の伝
統を受け継いでいるのです。そ
れが神仏の分身霊と先祖の因縁
の両面を持ち併せた人間の生き
方であり、信仰する心を持つ由
縁でもあります。
貧乏をして何を覚るか、病氣
をして何を覚るか、神仏はその
人に必要な事を与えて下さると
言われております。しかし三年
前の東日本大震災の甚大な被害
や犠牲になられた多くの人々、

又終息の見通しも立たない原発
の事故を見るとあまりにも大き
過ぎる試練ではありませんか。
言葉では話す事も出来ない悲し
みと苦しみもあれば故郷に帰れ
ない憤りもあり、又反面ボラン
ティアや手を差し延べる人々の
真心との出会いもあります。そ
れが縁であり運びだと思えます。
辞書で調べれば運命は

①超自然的な力に支配されて人
の上に訪れるめぐりあわせ
②天命に依って定められた人の
運

③今後の成り行き・将来

又天命は

①生れた時から定まっている運

命宿命

②天からさづけられた寿命

③天の命令・天から与えられた

使命

とありまして、一生涯変わらな
いもの、変える事の出来ないも
の様に思われます。しかし同じ
事でも受け止める自分の心で、
結果が異なってくるでしょう。
苦しめば、苦しみ共が苦しんで、
苦しみを連れて苦しみに来る。
反対に喜べば喜び共が喜んで
喜びを連れて喜びに来ると言わ

れます。世の中の動きや人の心
をどう受け止めるかが大切なの
です。

夫婦の間でも、とかく相手に
望む事が多くなります。こうやっ
てほしい。ああ成ってほしいと
相手が変る事を要求しがちです
が、自分を変えようとは露ほと
も思わない。自分が変らなけれ
ば何も変らないのです。言葉が
変れば態度が変る。態度が変れ
ば生活が変る。生活が変れば人
格が変る。人格が変れば運命が
変ると聞きました。全て神様の
お運びだそうです。

貧乏が金持ちになり、病氣が
直り、悩みが解消されたらどう
するかが大切なのです。一生懸
命勉強して大学に入っても遊ん
で活しては意味がありません。
せっかくのお運びをどう生かす
かが大事な所です。

私達は先祖の積重ねた徳行と
人間として生みなされた天命を
大切にして世の為人の為に奉仕
して良い縁を残し、子孫が幸わ
せになれる様運びたいものです。

神武館だより

水戸大会報告

神武館保護者会

千葉

崇



三月三十日(日)、水戸市の茨城県武道館を会場に、第五十五回全国選抜少年剣道錬成大会が開催され、県予選を勝ち上がった神武館三吉道場と田村道場の二チームが出場しました。

一行二十二名(選手十名、先生二名、保護者会十名)は、二十八日(金)夜、館長や後輩達に見送られて、大型バスで出発。秋田自動車道―東北自動車道―常磐自動車道を通り、翌朝早く、水戸市に到着。デニーズで朝食をとった後、会場の茨城県武道館に向かい、会場及び試合コートを確認、皆明日の戦いのイメージを描きます。毎年稽古を行う水戸東武館が、現在移築中のため、そのまま借楽園で散策。例年であれば、売りである梅の花は終わっている時期ですが、今年は、満開く散り始めの状態、天気も良く観光客で賑わっており、初めて日本三名園を満喫。その後、昼食をとり、

稽古を終え、ホテルに向かい、外で夕食をとった後、選手たちは本番に備えて早めに就寝。保護者(一部)は、同じホテルに宿泊している他のチームの先生方や保護者とロビーで少しの間意見交換。

大会当日は、場所取り部隊(父三人)が午前三時四十五分にホテルからタクシードで会場に向かう。既に入口は前日から並ぶ場所取りの長蛇の列。二百人はいるか。今年は雨のため、傘をさして開場の七時を待ちます。この会場は参加チーム数四〇八にしては非常に狭い。荷物も置けず、休憩もできなかったせい

で実力発揮できなかったとはさせられませんか。場所取りも負けられない戦いです。予め場所取りの位置、旗をかける位置を確認し、走るコースも変えてリスキを分散、頭の中でシミュレーションを繰り返し、開場とともにダッシュ。結果は・・・まあ及第点でしょうか。あとは選手たちの頑張り期待して応援に回ります。

試合は、三吉チームは第十一試合場の一試合目。相手は栃木県の黒磯剣道教室スポ少。苦手の女子が三人います。結果は三―一で勝ち進みました、二試合目は静岡県の尚道館。一試合目

の相手よりも動きも鋭く当たりも強い。先鋒が1本負け、次鋒が2本負け、中堅は引き分けたものの、副将が負けて勝負あり、大将は引き分けに終わりました。田村チームは第十試合場の十八試合目。相手は福島県の汲深館。全員六年生で体が大きい。我が四・五年生チームは臆することなく戦いましたが、結果は敗退。それでも次につながる何かを得たように思えます。三吉チームは四人が六年生で、彼らにとつては小学校最後の試合になりまして。六年生には中学での頑張りを、四・五年生には新たな神武館の歴史作りに期待します。



勝田若葉会にて



茨城県武道館にて

式年遷宮奉祝 参宮旅行のご報告

三月十一日より三泊四日で、神社主催の参宮旅行を開催いたしました。お陰さまで参加者は職員を含めて五十三名となりました。

初日、空路で羽田に向かい新幹線で名古屋へ。車窓から富士山が一望できる快晴です。浜参宮の後、外宮へ。全国から多くの参宮団がお見えです。御垣内参拝の後、古殿地を拝観。貴重な体験にみな感動しきりです。懇親会には神宮の齊藤郁雄様、橋本敏輝様に臨席戴き、また偶然男鹿真山神社御一行様と同席となったため大変楽しいひと時となりました。

二日目も快晴。内宮神楽殿でご祈願後、御垣内参拝。澄み切った清浄な御正宮の佇まいに、改めて御遷宮の重みを感じます。おかげ横丁で買物を楽しんだ後、一路京都へ移動。伏見稲荷大社・泉涌寺をお参りいたしました。

三日目、賀茂別雷神社と平安神宮を正式参拝。両神社様の大変なご歓待に参加者一同非常に感激です。その他京都御所や智積院・広隆寺を拝観。この日になると参加者同士もだいぶ打ち解けて、懇親会も和気藹々の内に行われました。

最終日は銀閣寺、丁度梅が見頃の北野天満宮、お酒の神様で有名な松尾大社を参拝。その他各所でお土産をどっさり買込み、事故等もなく無事終了いたしました。

今回の参宮旅行は二年前から募集を行いました。残念ながら諸事情でキャンセルの方も多くございました。そんな中、二十年の一度のタイミングで元氣にお伊勢参りができたこと、また普通の観光ツアーではお参り出来ない杜宇を参拝できたことを皆さん非常に喜んでおられました。機会がございましたらまたこのような旅行を企画して参りたいと思います。

参加者の皆さま大変お疲れ様でした。

権欄宜 和田恵梨子



賀茂別雷神社



内宮

平成 26 年度梵天祭奉納団体ご芳名

お蔭様で大きな事故もなく終了いたしました。厚く御礼申し上げます。

(株) 秋 田 銀 行	進 藤 久 信	(株) 北 都 銀 行
(株) T T K 秋 田 支 社	(社)新成会老人保健施設友愛の郷	ユアテックグループ
秋田大学大学院工学資源学研究所	特別老人ホーム新成園	(株)ユアテック秋田支社
(社)秋 田 育 明 会	社会福祉法人こばと保育園	東日本旅客鉄道(株)秋田支社秋田駅
広 面 地 区 体 育 協 会	こばと学童保育クラブ	学 校 法 人 伊 藤 学 園
広 面 商 工 振 興 会	水 口 町 内 有 志	(財)秋田県総合保健事業団
赤 沼 町 内 会	ボーイスカウト秋田第33団	ボーイスカウト秋田第57団
田 中 梵 天 保 存 会	梶 ノ 目 町 内 会	秋田市立広面小学校3年部
広 面 町 内 会	赤 沼 子 供 会	柳 田 町 内 会
濁 川 梵 天 有 志 会	柳 田 子 供 会	谷 内 佐 渡 町 内 会
桜 有 志 会	谷 内 佐 渡 若 葉 子 供 会	原 田 利 正 ・ ウ タ
泉 梵 天 奉 納 会	大 巻 子 供 会	梵 天 奉 納 有 志 会
土 崎 港 有 志 会	神 武 館 三 吉 道 場	三 吉 節 保 存 会
蛇野・西町・大沢町内会	神 武 館 田 村 道 場	青 少 年 育 成 秋 田 市 民 会
蛇 野 町 内 会	旭 川 幼 稚 園	浅 利 宅 久 業 雄
神 田 有 志 会	サ ン ク ス 秋 田 広 面 北 店	(株)奥 羽 住 宅 産 業
(有) エ イ ド	蛇 野 若 竹 子 供 会	向 山 忍 会 総 本
N T T 東 日 本 秋 田 グ ル ー プ	全 農 物 流 (株) 秋 田 支 店	空 手 高 橋 秀 造
東 日 本 旅 客 鉄 道 (株) 秋 田 保 線 技 術 セ ン タ ー	(有) 斎 藤 昭 一 商 店	神 社 協 力 支 援 会
下 北 手 振 興 会	ひ ろ お も て エ コ ク ラ ブ	秋 田 韓 国 留 学 生 支 援 会
三 吉 剣 道 ス ポ ー ツ 少 年 団	レ ス リ ン グ 北 志 館 道 場	(順不同・敬称略)
東 部 瓦 斯 (株) 秋 田 支 社	村 越 農 産 設	
大 吉 食 堂	(株) 石 川 建 設	

みよしスケッチ

初詣

三ヶ日に十万名のご参拝を頂きました。



師走大祓 (大晦日)

一年の罪穢れを祓い清める神事に多数のご参列を頂きました。



厄年・年祝い

節目の年を迎えた多くの方にご参拝頂いております。



斎竹で社殿・境内をお祓いいたしました。

煤払式 (十二月十三日)



どんと祭 (二月二十六日)

古い守札や縁起物のお焚き上げを行いました。



梵天祭反省会 (二月七日)



三吉梵天祭

平成26年1月17日(金)

当社の特殊神事三吉梵天祭は六十六団体様より七十五本の梵天奉納のもと大きな事故もなく賑々しく肅行されました。



春季 例大祭 のご案内

平成二十六年春季例大祭を左記の通り斎行いたします。

ご家族、お仲間同士お誘い合わせの上、多数ご参列頂きますようご案内申し上げます。

記

宵宮祭 五月七日(水) 午後六時

例大祭 五月八日(木) 午前十一時

(各日とも、祭典後直会がございます。)

◎ご参列の方は、四月二十五日までに係(和田)までご連絡下さい。

(七日) 秋田舞

(八日) 浦安の舞



三吉梵天祭

力の神・勝負の神のお力にあやかうと
激しくもみ合う村梵天